夏だ！ 休みだ！ 里山で遊ぼう！②

羽尻 嵩・小島 武雄

8月25日（土）、ならやまベースキャンプで、夏休み2回目の小学生向けのイベントを開催した。

この夏は7月から猛暑が続き、7月21日のイベント運営では、暑さ対策で四苦八苦した反省を踏まえて、時間短縮でおこなった。

当日参加者は、子供22名、保護者24名、スタッフ34名。

まずは、オリエンテーション、そして暑さ対策などの注意事項の後、ベースキャンプで集合写真撮影を行い、さっそく2班に分かれて、飯ごう炊さんでカレー作りにとりかかった。

ご飯係、かまどづくりと火おこし係、包丁を使いカレーの野菜準備係の3グループに役割分担を決めてスタート。

各班は、飯ごうが5個。それぞれ4合の水を入れお米洗い、上の線までの水の分量に注意し、クレンザー塗りまで、真剣に取り組んでいく。

野菜切りはスタッフやご家族がハラハラしながら、硬い人参切りを見つめる。

火おこしは楽しそうだ。ブロックで作ったカマドに薪を乗せマッチで新聞紙に火をつける。煙たくて熱いが、子供たちは燃え上がる炎に大興奮だ。手伝いのご家族も楽しそう。

20分ほどで、飯ごうの泡が吹き出していい匂いが漂ってきた。ひっくり返して少し蒸らすと完成。

この頃からカレーのいい匂いが漂ってきて、お腹の虫が騒ぎだす。みんな暑さを忘れていたのか、麦茶と、梅ジュース、紫蘇（しそ）ジュースで一息する。

今回は、包丁でのけがもなくスタッフ一安心。

ならやまの揚げ野菜をトッピングした特製カレーはとてもおいしいと好評で、何杯もお代わりする子もいました。

午後は、いつもの里山遊びの代わりに、自然観察。お勉強で里山林の観察路に入る。木漏れ日の観察路は涼しくて心地よい。

阿部さんと辻本さんのリードで、各ポイントでの樹木の観察をしていった。

ヤマコウバシ、タカノツメ、サルトリイバラ、コナラ、シイタケ、マンリョウ、サカキ、ヒサカキなど、子供たちの印象に残るように、図や写真を交え、面白く話されていた。

低学年の子には少し難しいところもあったが、最後のまとめの時の確認の質問には、勢いよくたくさんの手が上がり、ちゃんとした答えが返ってきていたので、観察会は大成功だと思った。

最後にアンケートに答えて、鹿の折り紙と数珠玉ブレスレットをお土産にもらって大喜びでした。

夏だ！休みだ！里山で遊ぼう！

★イベントに参加して

米山 翔太

近畿大学農学部環境管理学科に所属しております、米山翔太と申します。私は奈良県にて絶滅危惧種であるニッポンバラタナゴ（ペタキン）の保全を行っています。ならやま地区はペタキンの生息地として適していることから、奈良・人と自然の会の皆様と連携して保全に取り組んできました。

今回は、そんなならやま地区でイベントが開催されるということで、私たちもスタッフとして参加をさせていただきました。

先日のイベント「夏だ！休みだ！里山で遊ぼう！①、②」では、子どもたちと一緒に自然体験をし、そこにスタッフとして携わることで貴重な経験をすることができました。「里山で遊ぼう①」では水生生物の観察の際に子どもたちが水生生物に興味を持ち、「〇〇捕まえた！」と積極的に報告してくれる姿を見て楽しんでくれたことを確信できました。また、私たちが取り組んでいるペタキンの活動についても興味を持ってもらえ、日本の原風景である里山で絶滅危惧種が生息していけることに大きな意味があることが届いていればうれしいです。

「里山で遊ぼう②」での、飯ごう炊さん、里山での自然観察は自分の身近でないことや知らないことを体験できたという面でも、とても楽しかったです。また、これらを通して、こうした小さい頃の自然体験は、将来的に大きなものへとつながるだろうと思えました。かくいう私も小さい頃から自然と触れ合ってきたことで、環境や自然というキーワードの大切さを感じることができています。

最後になりますがこうした機会に参加させていただき、環境教育の現場でスタッフとして関われたこと、大変ありがとうございました。奈良・人と自然の会の皆さまもお世話になりました。これからもよろしくお願いいたします。

鈴木 萌水

近畿大学農学部環境管理学科の鈴木萌水と申します。私も米山君と同様にペタキンの生息地保全を行っております。今回、このイベントに参加させていただいたことにとても感謝しております。

「里山で遊ぼう①」では水生生物の採集・観察のスタッフとして参加させていただいたのですが、私たちが実際に保全活動を行っているビオトープや保全対象魚であるペタキンの説明を子どもたち、保護者の方々が興味を持って話を聞いてくれたことが、とてもうれしかったです。今回の体験のように、絶滅危惧種やペタキンのことについて興味を持っていただき、啓発活動をしていくことは、とても大切なことだと改めて感じました。

ほかにも、カレー作りでは、協力して作ったカレーは、普段自分で作るカレーより一段とおいしかったですし、小学生の時に行ったキャンプを思い出し懐かしい気持ちになりました。飯ごう炊さんは、子どもたちにとって普段なかなかできない体験だと思うので、貴重な体験になったと思います。私自身も久しぶりの飯ごう炊さんは、とても楽しかったです。

また、里山での自然観察では、実際に里山に入り、植物の説明をしていただいたのですが、木の名前の由来であったり、似ている植物の見分け方などを聞き、勉強になりましたし、その植物の昔から伝わる小話がとても面白かったです。農学部で植物の勉強はしていましたが、会員の皆さまの方がとても詳しくて見習わなくてはと思いました。このイベントを通して、私自身も自然と触れ合うことの大切さ、楽しさを改めて感じましたし、子どもたちにとっては、成長していく中で、生かされていくのだろうなと思いました。

最後に奈良・人と自然の会の皆さまには大変お世話になりました。また、定期的に訪問しますので、今後ともよろしくお願いいたします。